

新規歯冠用硬質レジンの特性を活かした前装冠の製作
～ HOW TO USE the SORIDEX HD systems FOR SUCCESSFUL WORK ～

大阪府技 北大阪支部
日技認定講師
藤野 大輔

近年、歯冠用硬質レジンはその簡便性・汎用性から様々な臨床で使用されています。

また、患者のデンタルIQの向上に伴い歯冠用硬質レジンの材料進歩もめざましく、今では天然歯にせまる審美的再現性や優れた金属接着性により、硬質レジン前装冠はより高いクオリティで製作できる時代となりました。

しかし一方では、その簡便性を過剰視しすぎ、材料特性を無視した使用法が起因する基本的トラブルも多発しています。

歯冠用硬質レジンの特性を最大限に発揮するためには、技工技術の向上は無論ですが、材料特性をよく理解したうえで使用することも大切であると考えます。

今回は、前歯部前装冠の実習を通じまして、新規材料「ソリデックス ハーデュラ」の特性を活かした築盛テクニック、また、硬質レジン取り扱い方の基礎などについてご案内させていただきます。

歯科技工 CAD/CAM システムの概略と今後の模索
～ APPROACH TO CAD/CAM SYSTEM FOR DENTAL ～

大阪府技 北大阪支部
日技認定講師
藤野 大輔

昨年のCAD/CAM冠保険導入により身近になってきたCAD/CAMシステムですが、現状はシステム導入を検討・もしくは決断しきれない方も多く、現在から未来への技工業界の変革に対して大きな期待とはうらはらに不安な要素も山積しているのではないかと思います。現在の技工技術や経験値、そしてラボが確立してきた様々なノウハウ(know-How)は意味が無くなってしまおうのか？CAD/CAM導入で生産効率は大幅に改善できるのか？考えることは多岐に渡ります。

しかしながら、CAD/CAM冠の保険導入は、CAD/CAMシステムについて我々があらためて全体像を見直すきっかけになっているところは否めません。

そこで今回は、基本に立ち返りもう一度CAD/CAMシステムの基本的知識、またその沿革などを整理し、今後のCAD/CAMシステムとの付き合い方などを皆さんと模索してみたいと思います。